

第2次三田市食育推進計画(案)に対する 市民意見の募集結果と意見に対する市の考え方について

1 実施概要及び結果

(1) 実施期間 令和5年1月17日(火)～2月15日(水)

(2) 閲覧方法

(ア)市ホームページでの閲覧

(イ)公共施設での閲覧

- ・総合福祉保健センター2階健康増進課
- ・市役所(本庁舎1階市民情報ひろば)
- ・まちづくり協働センター
- ・市民センター8か所

(3)意見の提出方法

意見書(任意の様式)に住所、名前、電話番号を記入し、郵送、ファクス、Eメール、窓口のいずれかで提出。

(4)意見件数 4件(3名)

2 意見の概要と市の考え方

市民意見

【計画案を修正するもの】…1件

【計画推進の参考とするもの】…3件

【計画案を修正するもの】

No.	頁	意見の概要	市の考え方と対応 (下線は計画修正予定部分)
1	45	<p>三田の農を支える食育</p> <p>めざす姿に”減化学肥料・減農薬栽培や有機農業など、環境に配慮して生産された農産物への理解を深めている”とありますが、取り組みの記載がないように思います。有機食材を使った給食の日や週による啓蒙があっても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ、記述を下記のとおり修正いたします。</p> <p>→②農と関わる機会の充実</p> <p>農業体験など、消費者が農に関わる機会を充実させ、<u>食に対する理解と感謝の気持ちの醸成、環境に配慮して生産された農産物への関心</u>を深めてもらえるよう取り組みます。</p> <p>ご意見を踏まえ、下記のとおり市の考え方をお示しいたします。</p> <p>市は、持続可能な農業の一つの手法として有機農業の推進が重要であると捉えており、第5次三田市農業基本計画において「環境に配慮した農業の振興」を掲げ、みどりの食料システム戦略の目標実現に向けて有機農産物の生産拡大や販路拡大に取り組んでまいります。また、関係団体や生産者の協力により、三田の特産品や減化学肥料・減農薬栽培の農産物を学校給食に取り入れており、今後も取り組みを進めてまいります。</p>

【計画推進の参考とするもの】

No.	頁	意見の概要	市の考え方と対応
1	27 他	<p>① 地産地消の推進について</p> <p>地域の”旬の美味しい食材”、流通に乗らない珍しい食材や不揃い、完熟の食材(食品ロス削減にも貢献)などが身近に購入できる店舗が各地域に密着していることが地産地消の推進には大きいと思います。(例えば各地域のコミュニティ</p>	<p>ご指摘のとおり、地産地消を進めるうえで、三田産農産物を身近なところで入手できることは重要であると考えます。地産地消の推進についてはp.45,46に記載しているとおり、市民に地元の食材を届ける仕組み作りとして、消費者のお住まいの近くでの三田産農産物の販売イベントの開催支援や、スーパーマーケット等の小売店で地場産品の</p>

		センターを利用したり、移動店舗などの形で多くの市民に地元の食材を届けられるような仕組みも一考かと思います。)	取扱いを促進するなど、今後も関連事業者等と連携しながら様々な取り組みを進めてまいります。
2	43 44	<p>「防災」の項目について、短期的な措置となる備蓄に加え、中長期的な食糧安全保障のための施策として以下の2点を提案します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消による食糧確保 ・地域の資源を活用した農法(有機農業等)による食糧確保 	<p>本計画の防災項目については「災害時の健康を支える食育」として位置付けております。</p> <p>ご提案いただきました中長期的な食糧安全保障については、食料の安定供給が重要であり、地産地消の推進は食料の確保につながるものと認識しております。食料の安定供給につながる関連施策としては、ひょうご農林水産ビジョン 2030 阪神地域アクションプランや第5次三田市農業基本計画等と関連させながら取り組みを進めてまいります。</p>
3	45	<p>地域での農業体験や、地元産のおいしい食材を食べることなどを、食育として子どもたちが経験する機会を増やし、三田の豊かな自然環境、おいしい「食」を誇りに思い、大切に守りたいと願う子どもたちが、三田ですくすくと育っていく。そんな食育を推進してほしい。</p>	<p>p.45,46 施策の方向1 三田の農を支える食育に記載の取り組みを進め、ご意見をいただきましたように、今後も地元三田のおいしい食材を食べ、農業体験など生産に触れる場づくりを通じて、三田の食を大切に思う子どもたちが増えるような食育を推進してまいります。</p>